

投資事業評価調書（新規）

部課室名	道路建設課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路建設課長 原口 和夫 (安倍 茂)	内線	(4 3 7 4)
------	-------	---------------------	------------------------	----	-------------

事業種目	道 路	事業名	事業区間	総事業費	約 9億円 (うち用地補償費5億円)
		特殊改良1種事業 国道312号 一本柳拡幅	朝来郡和田山町一本柳 0.4 km		
所在地				着工予定年度	完成予定年度
朝来郡和田山町一本柳				H13年度	H16年度

事業目的	事業内容
渋滞解消 建設省直轄事業と併せて、整備を図ることにより、渋滞の著しい一本柳交差点における交通の円滑化を図る。	道路改築（交差点改良） L = 350 m W = 29.0 m (4車線) 交通量(台/日)：計画 19,700 現況 19,700

評価視点	
(1)必要性 交通の円滑化	<ul style="list-style-type: none"> ・主要渋滞ポイント対策箇所の解消 主要渋滞ポイントである9号と312号の交差点である、一本柳交差点の渋滞解消を図ることにより、交通の円滑化に大きく寄与する。
地域の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの基盤整備 都市計画幅員により整備を行うことにより、交通量の増大に対応すると共に沿道における良好な市街地形成の基盤とすることができる。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・「北近畿豊岡自動車道（但馬地区）の整備を進める会」、「兵庫県国道九号線改修期成同盟」会等を通じ、但馬全市町から強い要望がある。
(2)有効性・効率性 有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・費用便益比 B / C = 1.9 (費用については、建設省分も含めて算定) ・建設省直轄事業の国道9号と一体整備を図ることにより、9号鳥取県方面からの右折交通を立体処理し、交差点処理能力の大幅な増大を図ることができる。
代替性	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画決定済みであり、他の代替路線はない。 ・北近畿豊岡自動車道完成後においても現況並の交通量があると予測している。
効率性 (事業執行環境)	<ul style="list-style-type: none"> ・建設省と同時施工することにより、効率的な事業執行を図ることができる。 ・都市計画決定がなされている。
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・渋滞の解消に資することにより、大気汚染を軽減する。 ・事業箇所は福祉のまちづくり重点地区（JR和田山駅周辺地区）に含まれており、バリアフリーに配慮した道路構造とする。
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・建設省はH16年度の事業完了を目標としており、進捗を合わせ、効率的な事業執行を図るためH13年度の事業着手が必要である。 ・一本柳交差点は渋滞が著しいため、早急な整備が必要である。

評価の結果	着手妥当	左の理由	審査の結果、事業着手が妥当と認められた。
-------	------	------	----------------------

